

小学校第4学年 図画工作科学習指導案

日時 平成23年6月24日(金)2校時

指導者 教育センター所員 櫛村 圭子

見る人が元気になるような「心元気アート」をつくります。自分の伝えたい思いをもち、色や形、材料などを生かして表していきます。発想や構想を引き出すような場の設定や子どもたちが自分の思いに立ち戻ったり、思いを更にふくらませたりできるような支援の在り方を探っていきます。

また、終盤では、一人一人の表現をもち寄って、互いの思いや作品をよく見つめながら、一つの作品にしていくことで、人と関わって一つのものをつくりあげる喜びや楽しさも味わってほしいと思います。

★キーワード：「思いを色や形、材料、表し方などを工夫して表す」

「思いに立ち戻る、思いをふくらませる」「友達と関わる」



1 題材名「思いを伝えよう！ ～心元気アートをつくろう～」

2 題材設定の理由

(1) 題材について

平成20年3月に示された学習指導要領では、「感性を働かせながら」という言葉が新たに加えられた。これは、表現及び鑑賞の活動において、児童の感覚や感じ方、表現の思いなどを一層重視されたことを示している。また、今回、指導事項として新設された〔共通事項〕も、「自分なりに形や色などをとらえる」「自分なりにイメージをもつ」というように児童自身の感性を働かせることと深く関わっている。

自分の思いを形や色で表したり、よさや美しさを感じ取ったりするなどの造形的な創造活動を実現するためには、発想や構想、創造的な技能、鑑賞などの基礎的な能力が必要になる。これらの力を育成するためには、児童が本来もっている資質や能力を基にしながら、体全体の感覚を働かせて発想や構想をしたり、形、色、材料などの特性を生かして造形活動をしたりするような場や学習活動の工夫をすることが必要であると考える。

本題材「思いを伝えよう～心元気アートをつくろう～」では、東日本大震災以来、様々な思いを抱えて頑張っている方々がいることや、様々な形で支援の輪が広がっていることに目を向けさせ、そのような方々に伝えたい思いをもたせる。そして、ダンボールを中心にいろいろな材料を用いて、それぞれの伝えたい思いを、色や形を工夫しながら表現していく。

ダンボールは、身近な生活の中にある素材で、積んだり並べたり、切って形を変えたりすることができる素材である。切る際に、多少の抵抗感があるが、ダンボールカッターを使って、のこぎりで切るような感覚を味わい、体全体を使って活動することができる。今回は、箱形のダンボールと板ダンボールを準備し、発想や活動が広がるようにする。また、ダンボールを主な材料に使うことによって机上でつくるものよりも大きな作品ができると予想される。

終盤には「つながる」をキーワードにして、一人一人がつくった作品の置き方や並べ方を考えさせて、一つの作品にしていく活動を仕組む。互いの作品の置き方や並べ方を工夫することにより、普段あまり実感す

ることが少ない空間のおもしろさも味わうことができると考える。互いの作品を見合い、話し合いながらつなげていくことで、互いの思いや発想、表し方のよさを感じることもつながると考える。相手に見せたい、伝えたいという思いをもちながら、それを形にし、実際に伝えることで、つくる楽しさや喜びを実感させたい。

(2) 児童について

本学級の児童32名を対象に実施した意識調査で、図画工作科の活動（絵画、工作、造形遊び、鑑賞）の中で、8割以上の児童が「工作がすき」と回答している。

「アイデアが思い浮かばないとき、あなたはどのようにしていますか。」という問いに対して、「自分ひとりで考える」と答えた児童が6割と一番多かった。また、3割の児童が、製作の途中で友達の様子や友達の作品をあまり見ていないことや、友達の作品のよい所を自分の作品に取り入れることが少ないということが明らかになった。今回、友達と関わる場を設定することで、新たな発想や技能を引き出すことにつなげたい。さらに、自分の作品のよさや美しさを感じている児童は7割であった。活動を通して、より多くの児童に自分や友達の作品のよさを感じさせたいと考える。

ダンボールに関しては、総合的な学習の時間などで看板や遊びに使うものをつくった経験はあるが、図画工作科の時間にダンボールを積んだり、切ったり、自分の意図するものをつくったりした経験はなかった。そこで、前題材でダンボールを使った造形遊びを経験した。ダンボールを素材にして、自由に積んだり並べたり、切ったり、つなげたりして素材のおもしろさや道具の扱い方を知った。

(3) 指導について

ダンボールを扱う経験が少なかったので、本題材に入る前にダンボールを使った造形遊びを設定する。ダンボールを素材にして、自由に積んだり並べたり、切ったり、組み合わせたりするなどの経験をさせ、素材のおもしろさや道具の扱い方に慣れさせる。

本題材では、箱型のダンボールだけでなく、板ダンボールも用意し、児童の発想が広がるようにする。造形遊びの中で自由に切った形のダンボールも活用し、その形からの発想も促す。

はじめに、メッセージ性の強い作品の鑑賞をさせ、作品に込められた作者の思いを話し合わせる。作品を通して作者の思いが伝わることを実感させたい。その後、被災地で頑張っている方々の様子やそれを励まし、支援しようとしている方々のことを話し合ったり、自分が元気付けられた経験や元気の出る歌などを思い起こさせるなどして伝えたい思いを引き出す。さらに伝えたい思いから発想するものをワークシートに言葉で書き表し、アイデアスケッチをする。また、このとき、児童がお互いの思いや考えを伝え合う時間を設けることで、自分の思いを明確にしたり、更に発想を広げたりすることにつなげたい。さらに、構想している段階で、自分の表現に合う材料を身近なものの中から探すことも促し、材料からの発想も促す。

製作する際には、材料や用具を試したり、共有したりできるコーナーを設け、自由に使えるようにする。

また、スポンジローラーや刷毛などを用いて短時間で着色できるようにし、色からも発想が広がるようにする。さらに、イメージマップやアイデアをかいたワークシートが常に見られるようにしておき、児童が自分の思いを確認したり、教師がアドバイスしたりする際に役立つ。

互いの製作の様子が見られるような配置で製作をし、行き詰まったときには友達の作品や製作の様子を見て回ったり、話し合ったりしてよいことを知らせ、互いに関わり合いながら新たな発想や表現方法を見付けられるようにする。

3 題材の目標

- 思いを形にしていく活動に興味をもち、楽しみながら取り組む。(関心・意欲・態度)
- 見る人に伝えたい思いを決め、色や形、材料、表し方の工夫を試しながら考える。(発想や構想の能力)

- 自分の思いに合うように、形や色、組み合わせ方を工夫している。 (創造的な技能)
- 互いの作品に込められた思いや色、形のよさを味わいながら、作品を組み合わせ、表現のよさを感じ取っている。 (鑑賞の能力)

4 題材の評価規準

	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価規準	○ 自分の伝えたい思いを表すことに関心を持ち、自分の思いで取り組もうとしている。	○ 自分の思いに合うような形や色、材料、組み合わせ方などを考えている。	○ 手などを働かせて用具を使い、形や色、組み合わせ方などを工夫している。	○ 作品に込めた思いを話し合いながら、形や色、表し方や材料による感じの違いなどを捉え、よさや面白さを感じ取っている。

5 準備

【教師】箱型ダンボール、板ダンボール、ダンボールカッター、ボンド、万能はさみ、アルミ針金、ビニールテープ、綿、緩衝材、共同絵の具、スポンジローラー、刷毛、トレイ、ホットボンド、

【児童】自分で探してきた材料

6 題材の指導計画と評価基準 (全9時間)

過程	学習活動	教師の指導・支援	評価の重点				評価の観点 (評価方法)
			関	想	技	鑑	
一次 (2)	<p>1 岡本太郎などの作品を鑑賞し、作品に込められた作者の思いを想像する。</p>  <p>2 東日本大震災後、被災地で頑張っている方々の様子やそれを励まし、支援しようとしている方々のことを話し合い、見る人に伝えたい思いをもつ。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ メッセージ性の強い作品をピックアップし鑑賞させる。 ○ 形や色、表し方の工夫などに着目させ、作者の思いを想像して話し合わせる。 ○ 作者の伝えたい思いが作品を通して伝わることを感じさせる。 ○ 児童と話し合いながら、「元気」「笑顔」「立ち上がる」「つながり」などのキーワードを一緒に見付けていく。 ○ キーワードの中から自分の表したい思いを決め、その言葉を発想させ、ワークシートのイメージマップに思い付く言葉や絵をかかせる。 ○ なかなか思い付かない児童には、イメージマップを基に個別に話をし、発想を促すようにする。 ○ 具体的な人やものの形で表してもよいし、別のものに置き換えて表してもよいことを知らせる。 ○ 元気付けられる歌や言葉などからも発想を促すようにする。 	○				<p>【関・意・態】 作品に込められた思いや作品のよさや面白さを味わおうとしている。 (観察・対話・ワークシート)</p> <p>【想】 見る人に伝えたい思いを決め、色や形、材料を考える。 (観察・対話・ワークシート)</p>

	<p>3 自分の表現しようという 思いを友達に話し、交流させる。</p> <p>4 ダンボールを中心にして、 いろいろな材料を用いながら、 自分の思いに合うように 表し方を考えて表す。</p>	<p>○ 友達と交流することで、自分の 思いを明確にさせたり、新たな発 想を促したりする。</p> <p>○ 材料や用具を試したり、共有し たりできる場を設定する。</p> <p>○ お互いに製作している様子が見 えるようにし、製作に行き詰ま ったときには、自由に友達の製作 している様子を見て回ってよい ことを知らせる。</p>				
<p>二 次 (5) 本時 4/9</p>		<p>○ イメージマップやアイディア をかいたワークシートを常に見 られるようにしておき、児童が自 分の思いを確認したり、教師がア ドバイスをしたりする際に役立 てるようにする。</p>		○		<p>【技】 思いに合った形や 色、表し方を工夫 する。 (観察・作品)</p>
<p>三 次 (2)</p>	<p>5 一人一人の作品に込めた 思いや表現の工夫について 話し合い、互いの思いや表し 方の工夫について知る。</p> <p>6 一人一人の作品の置き方 や並べ方を工夫して、そのよ さを味わう。</p> 	<p>○ 最初に作品だけを見て、そこに 込められている思いを想像させ る。その後、作品に込めた思いや 互いの表現のよさについて話し 合わせる。</p> <p>○ 伝えたい思いと色や形、使っ た材料との関連を見付けさせる ように視点を与える。</p> <p>○ できるだけクラスみんなの 作品を見て、それぞれの思いを知 るようにさせる。</p> <p>○ 伝えたい思いや色、形に着目 させ、置き方や並べ方を工夫させ る。</p> <p>○ 互いの作品をよく見て、そこ に込めた思いや色、形、材料の工 夫などについてよく話し合うよ うにさせる。</p> <p>○ なぜその置き方をしたのか ということについて説明できる ことが大切であることを知らせ る。</p> <p>○ 互いの作品をつないだり、並 べたりする際に使える材料も準 備しておく。</p>	○		○	<p>【鑑】 互いの作品に込め られた思いや色、 形のよさを味わい ながら、作品を組 み合わせ合わせ、 表現のよさを感じ る。 (観察・対話・ワ ークシート)</p> <p>【関・意・態】 形や色、組み合わ せによる表し方の 違いやよさに興味 をもち、楽しみな がら取り組む。 (観察・感想文)</p>



7 伝えたい思いを発信する。

- 置き方や並べ方が決まったら、写真を撮影する。また、いろいろな角度から作品を見ることで、空間の面白さも感じさせたい。
- 発信の方法を話し合い、発信する。

6 本時の展開（4／9時間）

(1) 本時の目標

自分の思いに合った形や色，組み合わせ方を試しながら，表し方を工夫してつくることができる。

(2) 本時の展開

過程	学習活動	教師の働きかけと評価
導入	1 前時までを振り返り，本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">自分の思いをこめて，表し方をくふうしよう！</div>	
展開	2 友達と作品を見合い，「ヒラメキーノ」を紹介し合う。 <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">箱に板をくっつけて，立つようにしたよ。</div>  </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">切り込みを入れるとどんどんつなげられるね。</div>  </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">色をつけたら，新しいことひらめいた！</div>  </div>	

<一人一人の作品例>



「ゆうきをつなげて」

暗い色から明るい色に
変わっていくことをあ
らわしました。
針金から「つながり」を
ひらめきました。



「えがおをわすれないで」

明るい太陽のまわりに笑顔の
ニコちゃんマークをいっぱい
つくりたいな。
明るい色で笑顔をいっぱい
あらわしたいな。



「みんなどんどん
上がっていく」

笑顔の種からみんなが
元気になって、どんどん
上がっていくといいな
あ。

<一人一人の作品をつなぎ合わせて大きな作品へ>



今日のテーマ

「心元気アート」

自分の思いをこめて、あらわし方をくふうしよう！

★ 今日の図工は、楽しかったですか？

とても楽しかった 楽しかった あまり楽しくなかった ぜんぜん楽しくなかった

★ あなたの思いを形や色、組み合わせ方などをくふうしてあらわせましたか？

よくあらわせた だいたいあらわせた あまりあらわせなかった ぜんぜんあらわせなかった

<今日の学習をふりかえって>

.....

.....

.....

.....

今日のヒラメキーノ！

- ★いいこと考えた！
- ★友達と話したり、見合ったりして新しくひらめいた！
- ★こんなくふうを見つけたぞ！
- ★次の時間にこれ、やってみよう！ など

